

2023 Publication Advertisements

出版広告掲載事例集

出版広告と朝日新聞

2023 Publication Advertisements and The Asahi Shimbun

2311-T5-700-A2-S4

EXTREME-PHOTOGRAPHER

朝日新聞社

お問い合わせ

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2 TEL 03-5540-7749

朝日新聞社メディア事業本部アカウントソリューション1部

朝日新聞社

流通に合わせた広告スケジュールと 来店につながる話題・仕掛けづくり

毎月、何千冊という新刊が生まれる出版業界。版元から読者へと作品を届けるために、出版社や書店はそれぞれどのような戦略を立て、工夫を凝らしているのだろうか。宣伝プランや広告のあり方について、紀伊國屋書店ブランド事業戦略部の松倉建太郎さんと味戸有紀さんに聞いた。

書評や新聞の書籍広告は 店舗の棚づくりのヒントに

—本の仕入れ、店舗における棚づくりに際して、工夫していることや参考にされていることを教えてください。

味戸 店舗ごとの過去のデータやウェブストアの予約件数から分析する読者の注目度、書評や書籍広告など、様々な角度から検討し、仕入れと棚づくりを行っています。出版各社の営業の方と、各店舗の棚の担当者とのコミュニケーションも重要なポイントです。

松倉 出版社の営業の方がその本をどれだけ熱を込めて売ろうとしているかという意気込みや心意気も、本の売り上げを大きく左右します。しっかりとした販促計画と広告のスケジュールを我々書店と共有することで、ヒットやロングセラーにつながる可能性は広がっていくのです。

味戸 新刊発売から1カ月という期間は、書店にとって仕入れの調整を図るタイミングの目安です。その時期に効果的な広告を打つなど綿密に「売るためのスケジュール」が考えられている本は、長く売れ続ける本になっていきますね。

松倉 毎月多くの新刊が出版され、入れ替わりの早い書店の限られたスペースで、ロングセラーとして生き残る本は、多くの場合、営業と書店員の連携が取れており、広告のスケジュールなどもしっかりと考えられているケースが多いです。

—書店から見て、出版広告をどのように使うのが本を売るために効果的だと思いますか。新聞広告のどのような部分に注目されているかも合わせて教えてください。

松倉 新聞の出版広告に関しては、文字の詰まった記事と同じ面に組み込まれる広告は、ビジュアルに訴えかけるものであったり、余白をうまく使っていたりするものが、目を引くと思います。

味戸 「何万部突破」や「ランキング1位」など数字が効果的に使われているものにはやはり目がいきますね。「重版出来」なども販促のキーワードになると思います。

松倉 広告とは異なりますが、書評が載った本も動きが顕著になります。新聞読者は活字の好きな方、文字を読む習慣がある方が大半なので、書評や広告への反応もいいですね。

味戸 読者のコメントや識者のコメント

が入っている広告もついつい読んでしまいますね。誰のコメントを載せているか、年齢層などから、どの読者層に届けるかがわかるため、貴重な情報源となっています。

複数の軸を持ちながら 売るタイミングを図る

—新聞を使った宣伝広告の効果を実感するのはどのような時ですか。

味戸 店舗の担当者からは「新聞の何面に広告が出ていたあの本が欲しい」というお客様が結構いらっしゃいます。著者やタイトルではなく「何面に載っていた本」というのは新聞特有です。切り抜きを持ってご来店される方もまだまだいらっしゃいます。

松倉 インターネットを通じてどこにいても書籍の購入ができる今、お客様が書店に足を運んでくださることはとてもありがたいことだと感じます。だからこそ、「欲しい本、探している一冊」を必ず店頭で購入していただけるようにそろえておきたいというのが、我々書店の切実な思いなのです。

味戸 例えば、芥川賞・直木賞受賞作の発表のタイミングは、書店にも注目が集まりますが、芥川賞の作品に関しては、その発表の段階で書籍になっていないものもあります。だから、販売の流れがしっかりとできた段階であらためて大きく広告を打つなど効果的な宣伝や話題作りができればいいなと感じます。書店としては、広告が出るタイミングで、店頭の商品がある状態にしておきたい

ですね。

松倉 現在は、新刊発売のタイミングだけではなく、本を売るためには複数の軸がポイントになっていると考えています。例えば人気作家の作品というだけでは、売るタイミングは新刊が出たタイミングだけになってしまいます。しかし、作品の映像化や映像化されたものを誰が演じるかが発表された際、演じる方がプロモーションでテレビ番組やCMに出演する際など、作品をPRし、本を売るチャンスは実は色々なところにあるのです。その一つひとつを生かすために、宣伝のスケジュールを出版社の担当の方と共有できればと思っています。

—店頭展開やオンライン書店、実店舗などの広告商材と新聞広告との連携の可能性や「こんなこともできたら面白い」などのアイデアがあれば聞かせてください。

味戸 紀伊國屋書店では、何度か開催しているのですが、漫画作品の広告のパネル展は、原作のファンの方々が大勢足を運んでくださり、来店にもつながりました。

松倉 来店につながる仕掛けは、色々と考えていきたいですね。漫画だけではなく文芸作品などでも、例えば新聞広告で作品の一部が読め、その続きが交通広告で読め、さらにその続きは店頭に来ると読めるなど、読者に楽しみながら店舗に足を運んでいただけるきっかけづくりができれば楽しいだろうななどと考えたりもします。

味戸 できるかどうかは別として、例えば料理などの実用書であれば、編集段階でボツになり、書籍には載らなかったレシピを広告に使うとか、小説などの後日談をプロモーションに使うなども面白いかなと。

松倉 コロナ禍で多くの人が外出を控



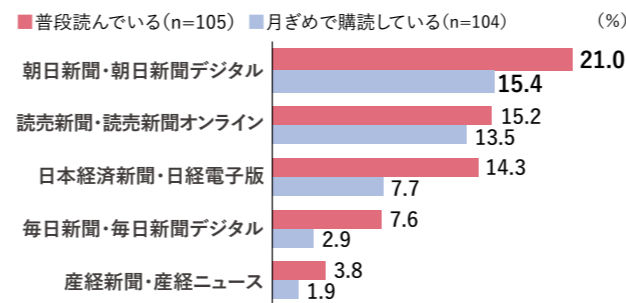
紀伊國屋書店ブランド事業戦略部
味戸有紀さん

えていた状況が落ち着き、街に人が戻ってきた今、書店としても仕切り直し、巻き返しを狙っていきたいところです。読書文化を盛り上げるために、出版社とさらに連携を深めて広告を効果的に使い、多くの人に本の魅力を伝えていきたいと考えています。

書店員メディア接触調査

普段読んでいる新聞は「朝日新聞」がトップ

あなたが、自宅・職場・スタンド買いなどで普段お読みになっている紙新聞・デジタル新聞はどれですか。また、自宅で月ぎめでとっているものはどれですか。
(n=105・複数回答)



【書店員の声】新聞広告の良い点

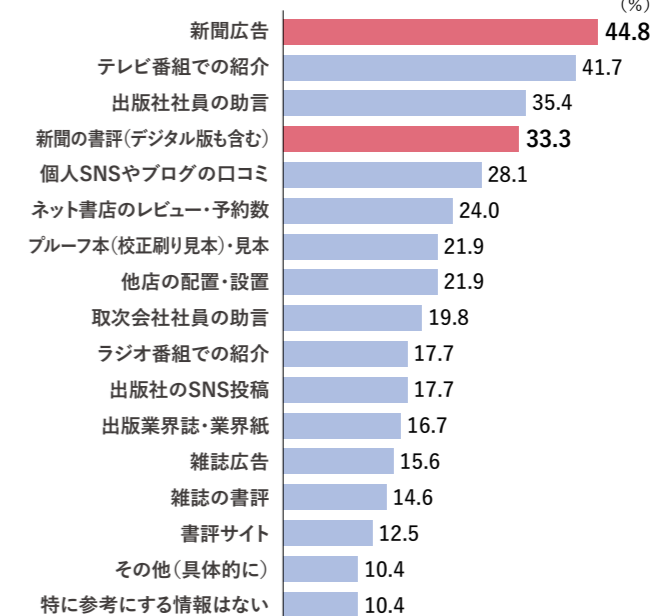
新聞広告の良い点、販促効果、影響力、貴店ならではの新聞広告の活用方法などについて、あなたご自身のご感想・お考えをご自由にお聞かせください。

お客さんは新聞広告を切り抜いてこの本と言って買いに来る。スピードで取り寄せてとありがたがられる。このお客さんを大切に、次も注文してくれるようにつなげたい。
(60代/店長・経営者・売上担当)

新聞広告の持つ力はまだまだ強いと思います。特に活字に慣れ親しんでいる世代への訴求はかなり強力だと思うので、今後もどんどん新聞広告を掲げて欲しいです。
(20代/店長・経営者・売上担当)

「新聞広告」を最も参考にして仕入れや棚づくりを行う

出版物の仕入れや棚づくり(特に平積み部分や特設コーナーなど)に際し、あなたは、発売前～発売直後に、どのような情報を参考にしていますか。あてはまるものをすべてお知らせください。
(n=96・複数回答)



「書店員メディア接触調査」(実査機関: ㈱日本リサーチセンター)より
2023年8～9月・n=105

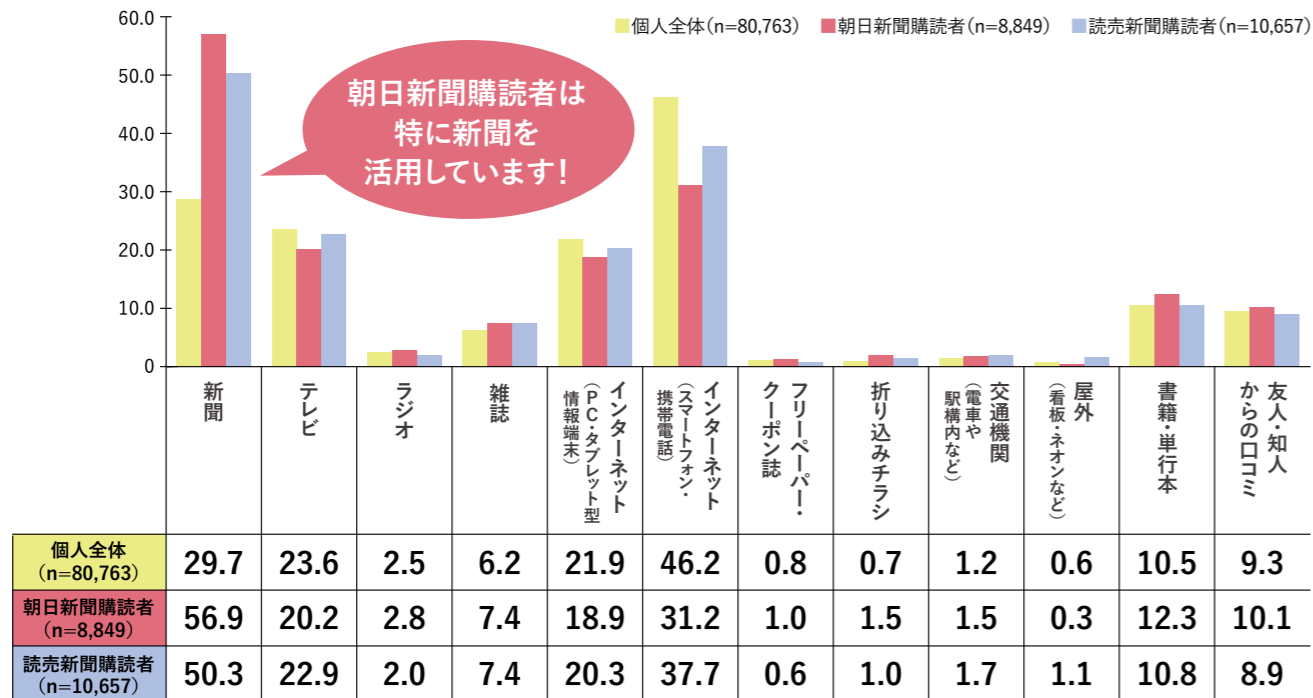


紀伊國屋書店ブランド事業戦略部 部長
松倉建太郎さん

■ 書籍・書評の情報入手媒体として活用される新聞

書籍・書評の情報入手媒体として、新聞は他のメディアよりも支持されています。
特に朝日新聞購読者は、半数以上が新聞を書籍情報の入手手段として活用していることが分かります。

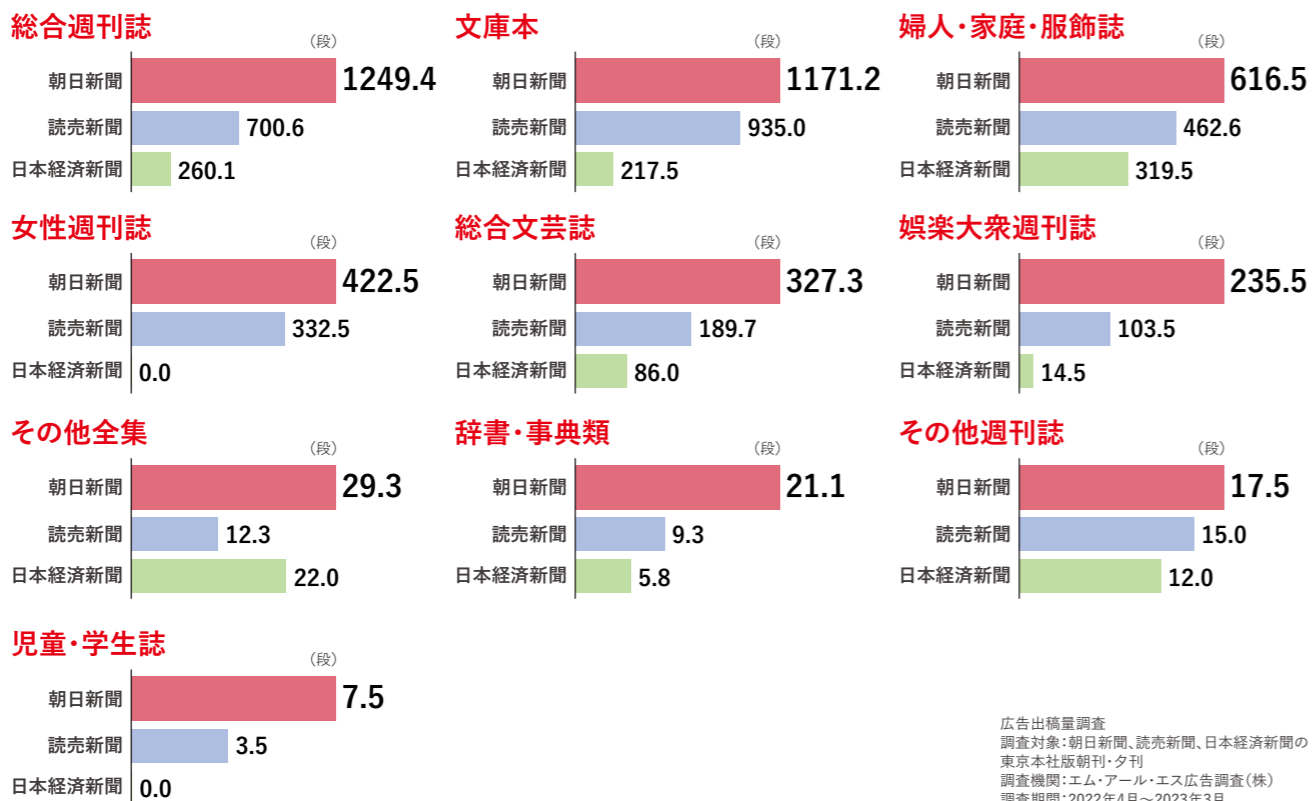
書籍・書評に関する情報の入手媒体(%) ※J-READ2021/複数回答



(株)ビデオリサーチ「J-READ 2021」より

■ 朝日新聞への年間広告出稿量

各ジャンルの出版広告の広告掲載量は、朝日新聞が他紙に比べて多くなっています。
出版広告の効果的な広告媒体として評価されていることが分かります。

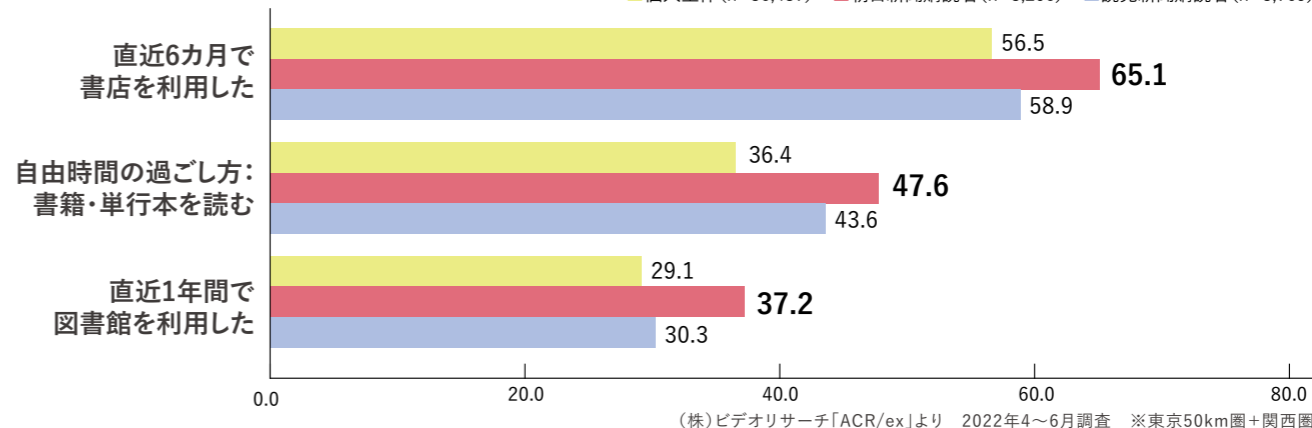


広告出稿量調査
調査対象:朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞の
東京本社版朝刊・夕刊
調査機関:エム・アール・エス広告調査(株)
調査期間:2022年4月~2023年3月

■ 本を動かす! 朝日新聞購読者

朝日新聞購読者は、書店や図書館の利用が多くなっています。
また、新聞広告を見て本を買に行った人も多く、書店への来店にもつながっていることが分かります。
本に関心が高く消費行動が活発な、まさに「本を動かす」読者であることが分かります。

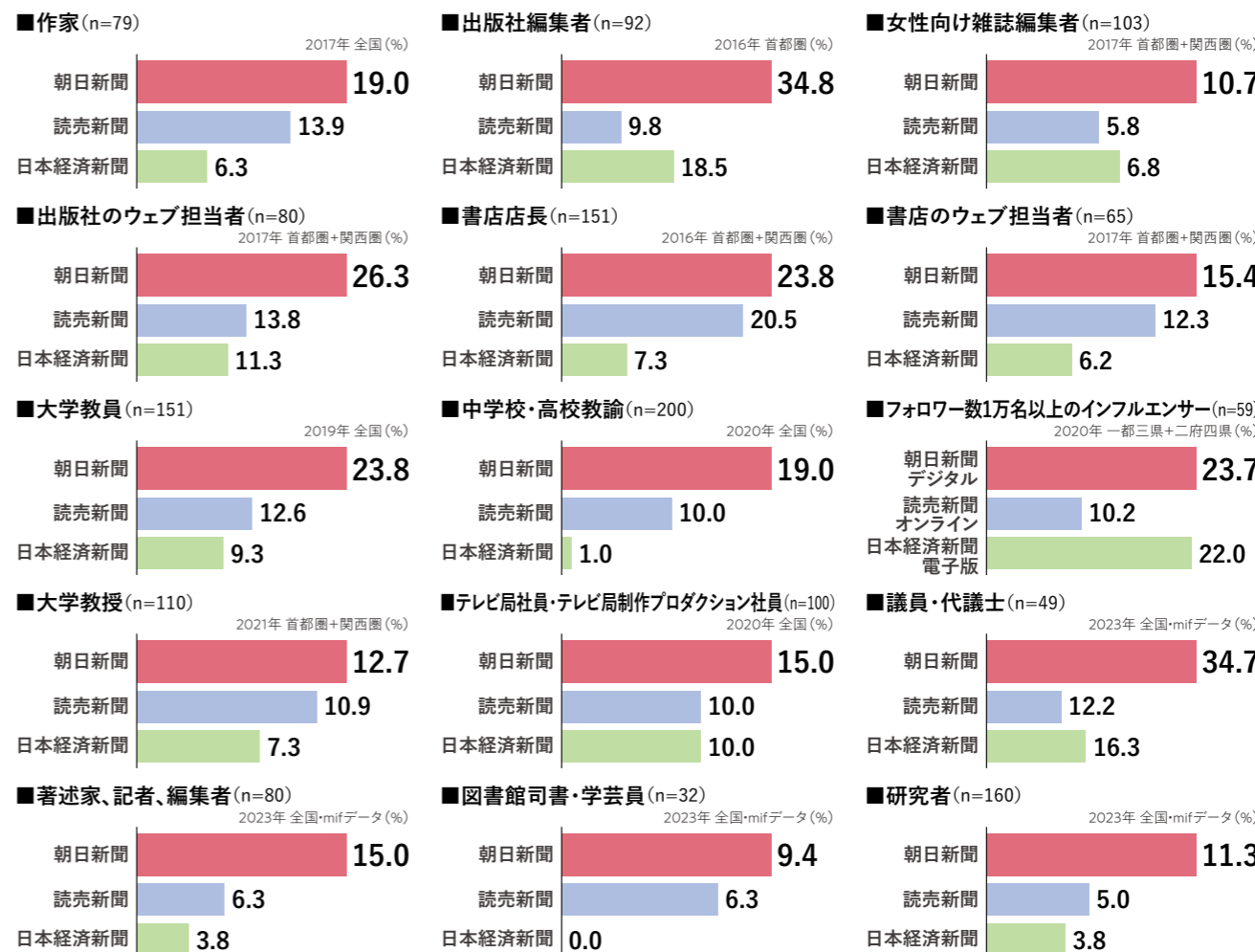
本に関する行動(%)



(株)ビデオリサーチ「ACR/ex」より 2022年4~6月調査 ※東京50km圏+関西圏

■ 出版業界の有識者に支持される朝日新聞

朝日新聞は、作家や編集者など、出版関係者に多く購読されています。
また、消費者へのインフルエンサー(大きな影響力を持つ人物)に支持されている点も特徴です。



有識者購読調査 調査地域:全国、首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県)
実査機関:レターヘッド:2016年(株)マーケティングセンター、2017~2021年(株)クロス・マーケティング
(株)三菱総合研究所・生活者市場予測システム(mif) 全国47都道府県に住む20~69歳の男女インターネット利用者/有効サンプル数 30,000/ウェブ調査/2023年6月実査

周年・創刊・受賞

新聞広告はニュース性が特徴。文学賞の受賞告知や周年・創刊など、その日に合わせたメッセージを効果的に伝えます。



集英社『éclat15周年』
2022年9月1日 朝刊 全15段



文藝春秋『文藝春秋創刊100周年』
2022年12月9日 朝刊 全15段



致知出版社『致知創刊45周年』
2023年9月4日 朝刊 全15段



文藝春秋『文春文庫創刊50周年』
2023年9月5日 朝刊 全15段



婦人之友社『建業120周年』
2023年3月25日 朝刊 全15段



ミネルヴァ書房『75周年』
2023年9月2日 朝刊 全15段



明石書店『エリア・スタディーズ200巻達成』
2023年9月29日 朝刊 全15段



三省堂『明解国語80周年』
2023年4月9日 朝刊 半5段



料理レシピ本大賞
2022年9月7日 朝刊 全3段

大型展開・話題作

新刊やキャンペーンの告知に限らず、定番の作品やシリーズ作品のラインアップに至るまで、迫力のあるクリエイティブで効果的に訴求します。



早川書房
『ノーベル文学賞』
2022年11月2日 朝刊 全5段



講談社
『本屋大賞』
2023年4月15日 朝刊 全5段



早川書房
『ハヤカワ新書創刊』
2023年6月21日 朝刊 全5段



新潮社
『直木賞』
2023年7月30日 朝刊 全5段



集英社『アジア人物史』
2022年12月1日 朝刊 全15段



ポプラ社『かがみの孤城』
2022年12月17日 朝刊 全15段



文藝春秋
『直木賞』
2023年7月29日 朝刊 全5段



文藝春秋
『芥川賞』
2023年7月29日 朝刊 全5段



集英社『今年のヒット小説』
2022年12月24日 朝刊 全15段



祥伝社『ボタニカ』
2023年3月15日 朝刊 全15段
撮影:天日恵美子/文:宮本恵理子/撮影協力:練馬区立牧野記念庭園



主婦の友社
『料理レシピ本大賞』
2022年9月7日 朝刊 半5段



ライツ社
『料理レシピ本大賞』
2022年9月21日 朝刊 半5段



早川書房
『本屋大賞』
2023年4月13日 朝刊 半5段

記事下スペース活用事例



早川書房『同志少女よ、敵を撃て』
2023年3月18日 朝刊 全15段



集英社『鈍色幻視行』
2023年5月26日 朝刊 全15段



集英社『チングス紀』
2023年7月26日 朝刊 全10段2連版



文藝春秋
『沈黙のパレード』
2022年9月10日 朝刊 全5段



青春出版社
『教養としてのダンテ「神曲」地獄篇』ほか
2022年9月13日 朝刊 全5段



文藝春秋『イーロン・マスク』
2023年9月13日 朝刊 全15段



講談社『鶴の碑』
2023年9月16日 朝刊 全15段



サンマーク出版
『生き方』
2022年9月15日 朝刊 全5段



アチーブメント出版
『究極の疲れない脳』
2022年9月25日 朝刊 全5段



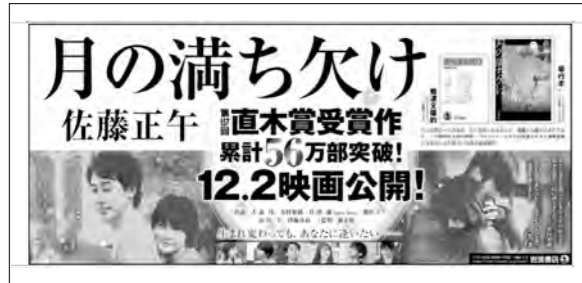
すばる舎
『人は話し方が9割』
2022年10月16日 朝刊 全5段



文芸社
『出版相談会』
2022年10月24日 朝刊 全5段

記事下スペース活用事例

大型展開・話題作



岩波書店
『月の満ち欠け』

2022年11月28日 朝刊 全5段



スターツ出版
『鬼の花嫁』

2022年12月30日 朝刊 全5段



河出書房新社
『くもをさがす』

2023年5月13日 朝刊 全5段



河出書房新社
『かっかどるどるどる』ほか

2023年5月27日 朝刊 全5段



大和書房
『好きになってしまいました。』ほか

2023年2月28日 朝刊 全5段



角川春樹事務所
『茜唄』ほか

2023年3月15日 朝刊 全5段



朝日新聞出版
『トミカ 歴代名車COLLECTION』

2023年5月30日 朝刊 全5段



産業編集センター
『わたしの旅ブックスシリーズ』ほか

2023年5月30日 朝刊 全5段



かんき出版
『限りある時間の使い方』ほか

2023年3月20日 朝刊 全5段



NHK出版
『ゼロからの『資本論』』

2023年3月29日 朝刊 全5段



飛鳥新社
『ぼくモグラキツネ馬 アニメーション・ストーリー』

2023年6月6日 朝刊 全5段



JTBパブリッシング
『ノジュール』

2023年6月25日 朝刊 全5段



実業之日本社
『クスの木の番人』

2023年4月9日 朝刊 全5段



新潮社
『街とその不確かな壁』

2023年4月13日 朝刊 全5段



ダイヤモンド社『小学生がたった1日で19×19までかんぺきに暗算できる本』ほか

2023年7月2日 朝刊 全5段



有斐閣
『注釈労働基準法・労働契約法』ほか

2023年7月2日 朝刊 全5段



新潮社
『新潮文庫の100冊』
2023年7月9日 朝刊 全5段



ミネルヴァ書房
『予防の倫理学』ほか
2023年8月12日 朝刊 全5段



双葉社
『双葉文庫 9月の新刊』
2023年9月14日 朝刊 全5段



アスコム
『発達障害の人が見ている世界』ほか
2023年9月20日 朝刊 全5段



三五館シンシャ
『コンビニオーナーぎりぎり日記』ほか
2023年8月15日 朝刊 全5段



PHP研究所
『猫を処方いたします。』ほか
2023年8月16日 朝刊 全5段



リイド社『評判すぎる文学作品を
だいたい10ページくらいの漫画で読む。』
2023年9月21日 朝刊 全5段



暮らしの手帖社
『暮らしの手帖』
2022年11月28日 朝刊 半5段



東京創元社
『11文字の檻』
2022年12月22日 朝刊 半5段



1万年堂出版
『人生の目的』ほか
2023年8月24日 朝刊 全5段



ポプラ社
『さみしい夜にはペンを持って』
2023年8月27日 朝刊 全5段



フォレスト出版
『否定しない習慣』
2023年6月19日 朝刊 半5段



明日香出版社
『相続・税金対策の教科書』ほか
2023年7月19日 朝刊 半5段



筑摩書房
『リスペクト』
2023年8月11日 朝刊 半5段



日本評論社
『リベア』ほか
2023年8月21日 朝刊 半5段



小学館
『最後の海賊』ほか
2023年9月3日 朝刊 全5段



幻冬舎
『物語思考』
2023年9月10日 朝刊 全5段



プレジデント社
『PRESIDENT』
2023年8月26日 朝刊 半5段



辰巳出版
『グッド・ライフ』
2023年9月8日 朝刊 半5段



ワニブックス
『とんでもないお菓子作り』
2023年9月13日 朝刊 半5段



東洋館出版社
『Thinking Baseball』
2023年9月26日 朝刊 半5段

雑誌

雑誌広告は新聞への定期的な出稿により新聞読者に想起を促し、存在感を高めています。また、雑誌の特長を生かしたクリエイティブの全面広告も出稿されています。

コミック・ラノベ

コミックの新聞出稿はSNSで大きな話題を呼ぶことが多く、ファンとのコミュニケーションの舞台として活用されています。



ハースト婦人画報社『婦人画報』
2022年11月19日 朝刊 全15段



光文社『VERY』
2023年2月7日 朝刊 全15段



集英社『ONE PIECE』
2022年11月4日 朝刊 全30段



ハルメク『ハルメク』
2023年8月7日 朝刊 全5段見開き



KADOKAWA『ソードアート・オンライン』
2022年11月6日 朝刊 全15段 裏表



光文社
『STORY』
2023年8月1日 朝刊 全5段



日経BP
『日経トレンドィ』
2023年6月2日 朝刊 半5段



扶桑社
『天然生活』
2023年8月19日 朝刊 半5段

KADOKAWA『わたしの幸せな結婚』

小説投稿サイト「小説家になろう」にて投稿されたオンライン小説で、KADOKAWAの富士見L文庫より書籍化され2019年1月から出版。2023年3月に映画化、2023年7月にはアニメ化された。ファン層が大きく広がる中、主人公とヒロインの結婚が成就した7巻の発売を機に、エリア広告特集を実施。また、書店にも配布したことで、書店への動線づくりにも寄与しました。



東京

講談社『ちはやふる』
2022年12月13日 朝刊 全15段



名古屋



大阪



北海道



西部



2023年7月29日 朝刊 エリア広告



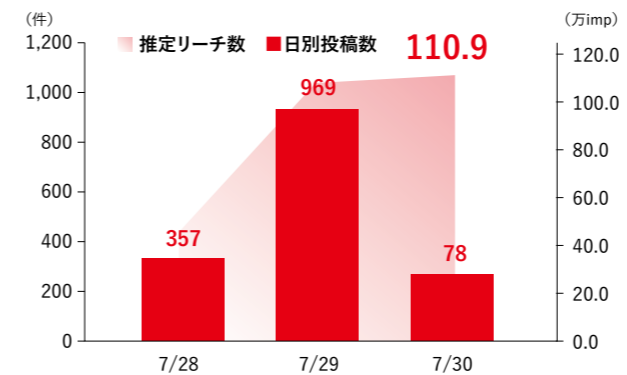
白泉社『大奥』

2023年1月10日 朝刊 テレビ面表札



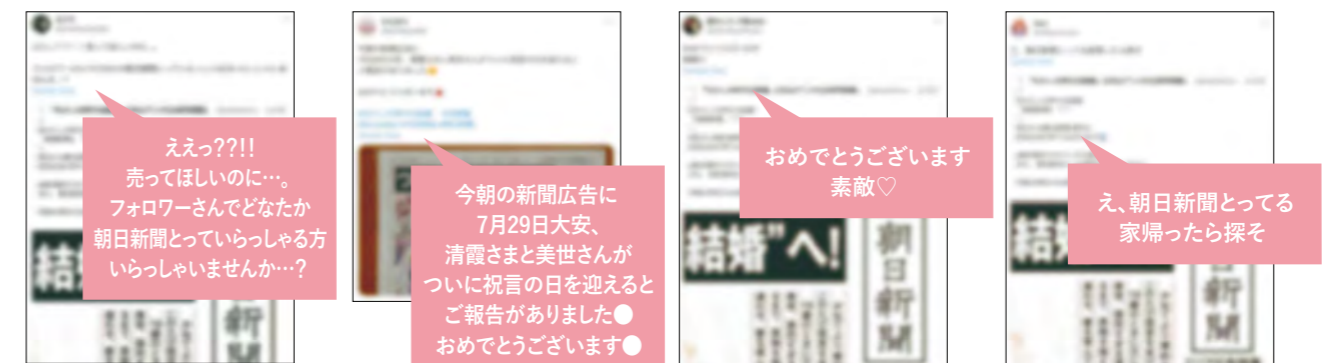
秋田書店
『海が走るエンドロール』ほか
2023年2月16日 朝刊 全5段

■KADOKAWA『わたしの幸せな結婚』「結婚新聞」折込広告



投稿数: 1,404件
推定リーチ数: 1,109,130imp

2023年7月31日時点
調査機関: D4DR株式会社
※推定リーチ数はポストしたユーザーのフォロワー数を合算した延べ数値



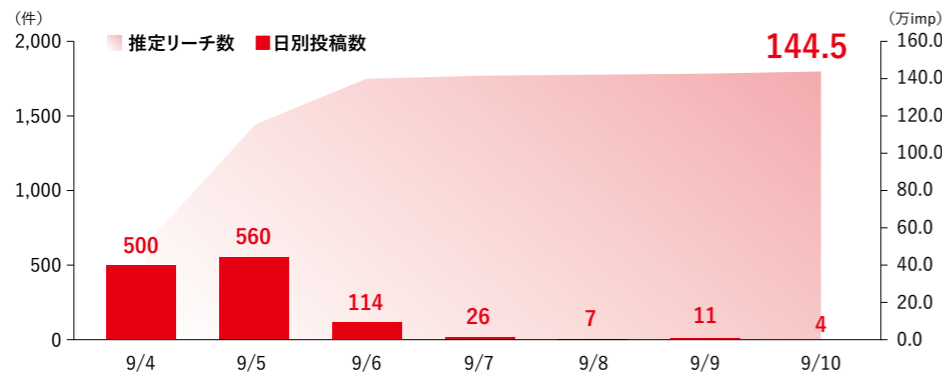
白泉社『夏目友人帳』

2003年に読切として掲載され、その後連載化、2008年から何度もアニメ化された大人気作。20周年を迎えたことを祝い、30巻発売時に実施。「二十年分の感謝とともに、その名前を、君に返そう。」というコピーと共に、ユーザー名で描かれたモザイクアートを掲載。



東京 大阪 名古屋・西部・北海道
2023年9月5日 朝刊 全15段

■白泉社『夏目友人帳』二十周年記念広告



投稿数: 1,222件
推定リーチ数: 1,444,536imp

2023年9月11日時点
調査機関: D4DR株式会社
※推定リーチ数はポストしたユーザーの
フォロワー数を合算した延べ数値

児童書・学習参考書

家庭で話題になるよう工夫を凝らしたクリエイティブが紙面を飾ります。子供や孫へのプレゼントとして、児童書の購買層をしっかりと捉える媒体として新聞広告は活用されています。



大修館書店
『ジーニアス英和辞典』
2022年11月11日 朝刊 全5段



KADOKAWA
『日本の歴史』
2022年12月2日 朝刊 全5段



ポプラ社
『世界で最後の花』
2023年6月17日 朝刊 全5段



あすなろ書房
『中学生までに読んでおきたい日本文学』
2023年7月18日 朝刊 全5段



小学館
『大ピンちずかん』
2023年8月12日 朝刊 全5段



白泉社
『ドーナツペンタくん』
2023年8月16日 朝刊 全5段



中央公論新社
『マンガ日本の古典』
2023年8月20日 朝刊 全5段



Gakken
『NEW日本の歴史』
2022年12月11日 朝刊 半5段



白泉社『1日10分で日本をおぼえる絵本』
2023年7月8日 朝刊 半5段

正月広告は各企業が自社の姿勢を読者にアピールする場となっています。各出版社が意匠を凝らして自社のカラーを出した原稿を出稿しています。



岩波書店『理性に立ち返る——。』
2023年1月1日 朝刊 全15段



講談社『World meets KODANSHA』
2023年1月1日 朝刊 全15段



新潮社
『いつだって、出会ったときが最新刊』
2023年1月1日 朝刊 全5段



文藝春秋
『道は百も千も万もある。』
2023年1月1日 朝刊 全5段



大修館書店
『信じられる。』
2023年1月1日 朝刊 全5段



光文社
『「本がすべてじゃない」と書いてある本。』
2023年1月1日 朝刊 全5段



集英社『もっともっとおもしろく。』
2023年1月1日 朝刊 全15段



小学館『信じてみよう。』
2023年1月1日 朝刊 全15段



マガジンハウス
『新しい年も、きげんよく。』
2023年1月1日 朝刊 全5段



聖教新聞社
『言葉が、私の空を高くする。』
2023年1月1日 朝刊 全5段



国書刊行会
『50年の未来へ。』
2023年1月3日 朝刊 全5段



朝日新聞出版
『一番売れてる科学漫画 サバイバルシリーズ』
2023年1月3日 朝刊 全5段

メッセージ広告

新聞紙面は企業姿勢を伝えるパブリックな場です。
新聞広告により、真剣なメッセージを読者に伝えることができます。



宝島社『世界を敵にまわして、生き残ったヤツはいない。』
2022年10月24日 朝刊 全30段

多彩な紙面企画

プロジェクトや記念日に合わせて様々な企画を立ち上げています。
複数の出版社が一つの企画に出稿することで、一覧性や統一感が生まれます。



文藝春秋・松竹『大名倒産』
2023年6月13日 朝刊 全30段



宝島社『団塊は最後までヒールが似合う。』
2023年1月5日 朝刊 全30段



小学館・講談社『讚えあい広告』
2022年10月20日 朝刊 全15段



ふゆよみ2022
2022年12月3日 朝刊 全15段

多彩な紙面企画

メッセージ広告

小 枠

朝刊1面を飾る「サンヤツ」「サムツ」の他、読書面掲載の「5段12割」は、伝統の小枠広告として親しまれています。また、近年は、「〇〇の日」に合わせたカラーサンヤツ、カラーサムツも好評です。



MOE絵本屋さん大賞2022
2022年12月28日 朝刊 全15段



大学から社会へ
2022年10月29日 朝刊 全5段



カレンダー企画
2022年11月4日 朝刊 全5段



サンタさんのための絵本カタログ
2022年12月9日 朝刊 全5段



新年書籍連合
2023年1月3日 朝刊 全5段



紀伊國屋じんぶん大賞2023
2023年2月19日 朝刊 全5段



日経BP・マガジンハウス
『10代から読みたい時代を超えた感動の書』
2023年7月15日 朝刊 全5段



3段8割(サンヤツ)
2023年1月1日 朝刊 全3段



3段6割(サムツ)
2023年7月28日 朝刊 全3段



5段12割
2023年3月11日 朝刊 全5段



児童書カラーサンヤツ
2022年11月20日 朝刊 全3段



学びの本棚

2022年12月27日 朝刊 全3段



2月22日はネコの日

2023年2月22日 朝刊 全3段



児童書カラーサンヤツ

2023年5月5日 朝刊 全3段



書影入りカラーサンムツ

2023年5月19日 朝刊 全3段



6月20日は「世界難民の日」

2023年6月20日 朝刊 全3段



コミックサンヨツ

2023年8月31日 朝刊 全3段

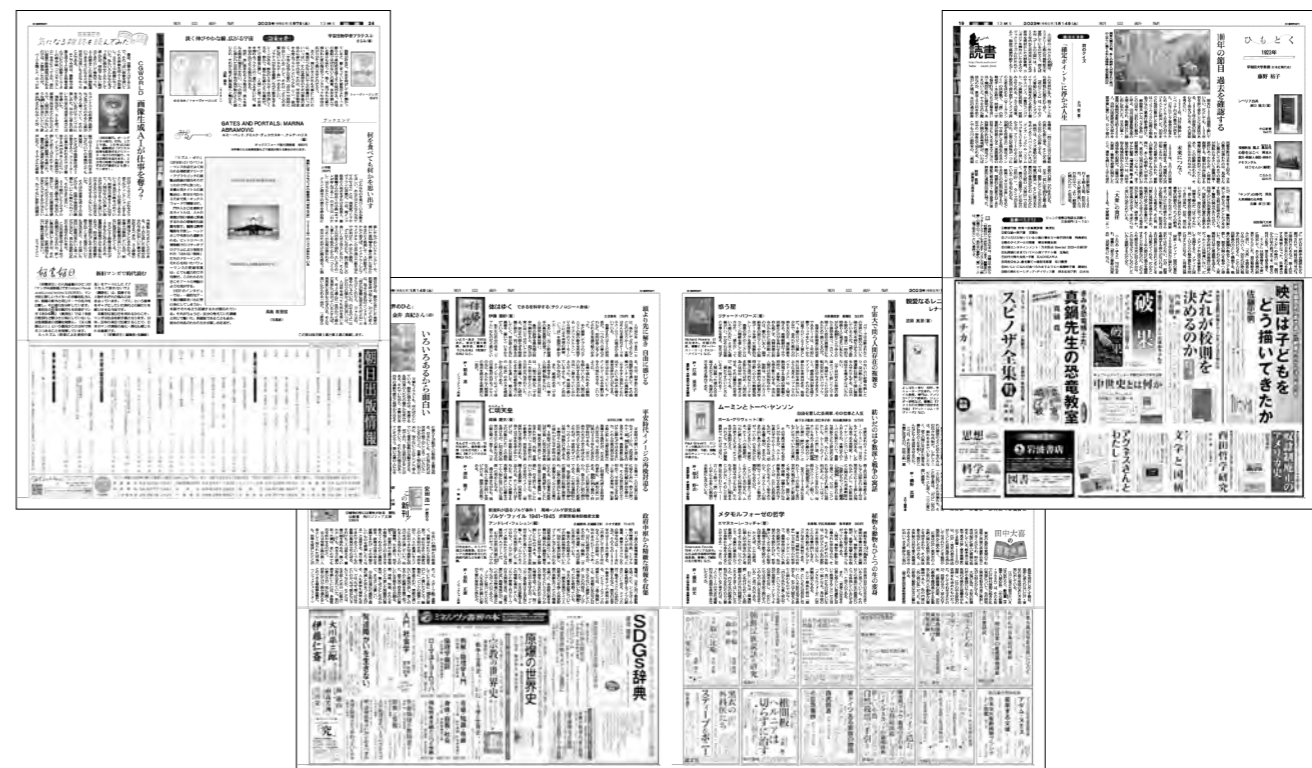


9月1日は関東大震災から100年

2023年9月1日 朝刊 全3段

読書面

毎週土曜日に掲載している読書面は、週末の書店誘導に効果的です。読書好きの読者だけでなく、全国の書店員の方々からも注目されています。



読書面

2023年1月7日、14日 朝刊 全60段

朝日新聞社では、多岐にわたるメディア展開・デジタル媒体の
 開拓を通じて、読者と本との接点を広げています。

■A-TANK <https://www.asahi.com/ads/guide/atank/>



600万IDを超える朝日IDにより、職業や年齢などでターゲティングしたり、各種媒体・サービスを通じたWEB行動情報、購買履歴・応募履歴などにより、特定の記事群や特集を読んだ人にターゲティングして朝日新聞デジタル上で広告配信することが可能です。

「A-TANK DMP」に朝日新聞の1stPartyデータを蓄積・活用

600万IDを超える朝日IDの属性情報と30以上の媒体・サービスを通じた行動履歴を様々な打ち手に活用可能。



精度の高いディスプレイ広告配信が可能



- 〈施策例〉
- 朝日新聞の1stPartyデータを基に、機械学習による拡張セグメントを作成して広告配信。
 - 広告主サイトにタグを設置し、朝日新聞の1stPartyデータも組み合わせ、機械学習による拡張セグメントを作成して広告配信。
 - A-TANKを利用し、広告をクリックした人の属性や記事嗜好を分析して今後の戦略に役立つレポートを提供。

■朝日新聞デジタル(スマホ版)プレミアムインフィード広告

スマホサイトのトップページおよび記事ページに掲出されるインフィード広告です。記事直下を中心に掲出されるため、クリック率(CTR)が非常に高い広告です。A-TANKを用いて、適切なターゲットに絞って届けことが可能なメニューです。



原稿本数は4つまで。1つの本に4つの原稿を制作して配信することもできますし、4つの本それぞれに1原稿ずつ制作いただき、配信することも可能です。

中央公論新社

早川書房

4冊の書籍でターゲティング配信しました。ドラマ放送中の『やさしい猫』や、本屋大賞を受賞した『52ヘルツのクジラたち』などの文芸書を中心にクリック率が高く、読者好きユーザーに広く訴求することができました。ノンターゲティングでの配信と比べてクリック率が1.6倍に上がりました。

有斐閣

**公益財団法人
文字・活字文化推進機構**

オンラインメディア「有斐閣Online」のキャンペーンサイトへの誘導施策として実施しました。朝日新聞デジタル内で「最高裁」「冤罪」「判例」「法改正」「日本弁護士連合会」などの法律関連のキーワードの入った記事を読んだユーザーや、法律関連の職種に就いているユーザーをターゲティングして配信しました。配信終了後、クリックした人の年齢や性別、職種などを分析したレポートも発行しました。

■今村翔吾×山崎怜奈の言って聞かせて(ABCラジオ)



朝日放送ラジオと朝日新聞の共同プロジェクトとして、出版業界を盛り上げるために本や歴史について語る番組を2022年10月から開始しました。パーソナリティは作家としての活動にとどまらず、あらゆることに挑戦してきた直木賞作家・今村翔吾さん。パートナーは歴史・ラジオが大好きな山崎怜奈さんが務めます。2人の共通点は「本」と「歴史」。2人だからこその『歴史』の話、『本』にまつわる話、リスナー参加コーナーなど楽しい企画が盛りだくさんの30分。本にまつわるゲストもお呼びしていきます。ABCラジオのほか、radiko、Spotify、Podcastでも配信中。

- 私を構成する1冊■
MCやゲストが人生を語るうえで、欠かすことのできない1冊の本についてお話をします
- 偉人選抜会議■
テーマに沿って候補者を出し合い、そのテーマに最適な偉人を決めるコーナー
- 物は相談■
皆さんの悩みを聞き相談に答えていきます

放送時間: 木曜夜深夜1:30~2:00

公式SNS

- X: @ittekikaseteABC
- Instagram: @ittekikaseteabc

今村翔吾
 歴史小説家。2022年『塞王の楯』(集英社)で第166回直木三十五賞受賞。書店経営や、テレビでのコメンテーターなどをマルチにこなす。22年8月から朝日新聞朝刊にて『人よ、花よ、』連載中。

山崎怜奈
 1997年生まれ。慶應義塾大学卒。乃木坂46を22年6月に卒業。『歴史のじかん』を幻冬舎より出版。TOKYO-FMで昼の帯番組『山崎怜奈の誰かに話しかかったこと』放送中。X(Twitter)フォロワー 25.8万人

番組とのタイアップ広告も可能です。お問い合わせください。

■好書好日 book.asahi.com



本や著者の紹介、「～したい」「～な気分」といった気持ちやシーンに沿った本の提案、映画の原作から絵本の紹介まで、人生を豊かにしてくれる本との出会いを助ける本の情報サイトです。新刊告知やイベント・キャンペーン、プレゼントパブリシティ、カスタマイズ企画などの広告商品を提供しています。

ページビュー数 1,194,515PV
 ユニークユーザー数 778,577UU
 ※Google Analytics調べ(2023年7~9月平均)

SNS拡散

- X: 81,777
- Instagram: 5,099
- Facebook: 8,054
- Mail Magazine: 12,182

コンテンツ

注目の文芸作品や作家をいち早く紹介するとともに、映画化やドラマ化で話題になった原作本は俳優や監督がその魅力を語ります。社会や家族、働くことについて考えを深めるノンフィクションや絵本の紹介も人気です。

■じんぶん堂 book.asahi.com/jinbun/



出版社と朝日新聞社による「人文書の魅力」を伝えていく読書推進プロジェクトとして、2019年11月に発足しました。「好書好日」内の専門サイト「じんぶん堂」を起点に、「コンテンツ」「プロモーション」「イベント」を展開。人文書との出会いの場を提供しています。

コンテンツ

注目の人文書の抜粋や、著者エッセイ・インタビュー、書店員の情熱を伝える連載などを発信。加盟出版社は自社の人文書を紹介する記事を執筆、サイトから発信いただけます。自然検索からの流入が全体の4分の3と多く、記事は長期間にわたって読まれています。

加盟社募集中

「じんぶん堂」では出版社の加盟を募集しています。ともに人文書の魅力を届けませんか。詳しくは「じんぶん堂」事務局 jinbundo-support@asahi.com まで。